

No.9

アクティブラーニング型工芸事業力養成事業

所管：商工労働部ものづくり振興課（工芸振興センター）

- ・平成30年度当初事業費：18,899千円
（うち国費 15,118千円）
- ・事業期間：平成30年度～32年度

事業目的

本県の工芸産業の振興に資することを目的とし、全国でもまだ例がない深い学びを促す人材育成方法の導入により、現代および将来のニーズに対応する工芸事業者を育成する。

⇒ 市場開拓。工芸産業の振興

事業内容

「主体的、対話的による深い学び」をキーワードとし、学校教育現場で広く導入されている「アクティブラーニング」の手法を導入実施。育成メニューは指導内容、対象者の別により、自己プロデュース力、製品開発力を向上させる「①工芸事業企画コース」、二次加工技術（縫製・金細工）を向上させる「②伝統工芸活用技術コース」の2つを実施する。

また、上記の人材育成で活用する工芸ソフト情報について、工芸振興センターにて「事業者育成データ」として整備、蓄積を行う。

①人材育成の実施

18,612千円

②事業者育成データの整備

287千円

2本柱→

- ・プロポーザル委託による人材育成（育成コース）
- ・工芸振興センター直接によるデータ整備（事業者育成データ）

